

# 図書報だより

第 66 号

平成13年 9月30日  
愛媛大学附属図書館

## 目 次

愛媛大学の改革にも、 痛みは伴うのだろうかど… …… 1	平成13年度大学図書館職員長期研修に 参加して …… 9
シリーズ学部資料室紹介（5）工学部① …… 4	平成12年度科学研究費補助金の研究成果 報告書 …… 10
「江嶋家文書」寄託資料 …… 5	附属図書館委員会 …… 12
コンテンツサービスが無料で 利用できます …… 5	お知らせ …… 12
学生にすすめるこの一冊 …… 8	附属図書館委員会委員交替 …… 12
愛媛地区大学図書館協議会総会および協議会 Web版の公開 …… 8	図書館日誌（会議，研修）…… 12
	人事異動 …… 12

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

## 愛媛大学の改革にも、痛みは伴うのだろうかど…

渡 邊 裕

本稿では、大学改革にさらされた現状の中から学術雑誌を中心に、私の考えているところを述べてみたいと思います。

ちょっとその前に…

### 1 改革は自己改革から

昨今の「改革」、「改革」の日本、特に大学は重大な岐路に立たされているのは間違いないでしょう。そんな中、一番重要なことは自己改革かもしれないと思っています。特に大学は、一人ひとり特徴があり過ぎるほどの個性豊かな集団で成り立っており、これこそ未知の研究に勤しむ必要な要素と思われまふ。学生はそのキャラクターに触発され、時には反発し批評することで彼ら個人個人の肥やしを作って社会に育て行っ

たと言えます。このような状況…つまり研究の姿を教育という鏡に映し出す…これが大学の基本ではないでしょうか。しかし、これまでの大学の閉鎖性が保たれた中、我々はややもすると悪い意味の個人主義に陥ってしまっていた部分もあるのではないかと考えたいのです。この様な意識ではこれからの「大学改革」に対し痛みばかりを強調しかねません。ですから大学の将来を考える時、まず自己改革をしないとイケないと思っています。15年あまり前、松山のある大病院の院長が「患者さんをお客さんと思え」と号令を掛けたそうです。大学でも、遅まきながら同じようなことが言えそうです。皆さん、免疫力を付けて痛みを少しでも和らげまふ。

## 2 改革と図書

＜改革の中の研究環境＞ 研究環境を良くしていかないと、いい人材も集まりません。その観点から研究設備と図書の充実が重要課題であり、改善していく上で学部、学科、研究室の垣根を取っ払った協力体制（共同購入・共同利用等）が必要と思います。全国の大学に先駆け機器分析センターが愛媛大学に出来、高価な大型機器が使えるようになって研究の速度が大幅にアップしました。一研究室ではなかなか手に入れないものもこういう形で購入できれば、お互い大変助かります。更に、各研究室の持ち物を公開し貸し借りすれば、お互いの交流もできて意にかなった体制ができあがっていくのではないのでしょうか。

＜雑誌購入の一元化＞ 図書館資料の中でも特に学術雑誌の購入資金や運用について協力体制が必要です。来年度の購読雑誌の数は1割余りの減少に留まっていますが、その金額はかなり減っており高い雑誌を中

心に購読を中止される傾向にあるようです（表1）。その結果、Elsevier社から買っている雑誌（冊子体）の総額はこれまで4千万円近くあったため、同社の提供する電子ジャーナルSD21に含まれる全ての雑誌（購読していないものも含めて）を無料で利用できていましたが、来年度のその総額が3千万円を切るという激減により、今年いっぱいSD21が利用できなくなる事態となってしまう（表1）。この様に、研究費削減により研究室単位で学術雑誌を購入・維持することは大変困難な状況にあります。去年、ある雑誌が購読中止となり、「こんな重要な雑誌がないような大学は大学じゃない」というような声も聞かれます。こんな状況ですから、これから恒常的に雑誌を維持していくためには大学で図書費を一括して管理する共同体制を早く確立すべきだと強く思っています。図書委員会の方でもそのような案を打ち出しているのですが、底辺からそのような意見が噴出してきくようでないとは進みません。

表1 洋雑誌購入額の激減の様子（愛媛大学の場合）

	洋雑誌の購入総額	Elsevier社からの購入総額
2000年度	1億7000万円	4100万円
2001年度	1億6000万円（予定）	3900万円
2002年度	1億6000万円（為替の関係からあくまで予想）	2700万円

注）左欄で、額に余り差がありませんが、来年度は150種以上の減少、値上がり、円安を考慮してみてください。

＜購読料の安価な雑誌を充実させよう＞ とにかく商業誌は高い！ ある方の寄稿の中で、購読料の高い商業誌よりも学会誌に論文を投稿しそれを充実させるよう配慮すべきだと、述べられてました。どこの大学も図書費には苦慮しており、このような方針に賛成です。これに関して、ひとつ例を

述べます。古くから発行されている引用度（インパクトファクター、IF）の高い有名な商業誌があります。この購読料はべらぼうに高いのですが（表2）、最近アメリカ化学会から同内容の雑誌を発刊したところ、今や引用度は同じになり、購読料は前者よりかなり安いのです。両者の編集サイドでの

競争が激化しているところです。

潰せという意図はありません。

もちろん Elsevier 社の刊行物は良いので、

表2 商業誌と学会誌の比較

	Tetrahedron Letters	Organic Letters
発行元	Elsevier Science	アメリカ化学会
刊行頻度	weekly	biweekly
図書館購読料	1,170,300円 \$ 9,036 (ヨーロッパと日本以外)	\$2,547
個人購読料	52,700円 (要図書館購読)	\$263 (会員) \$ 25 (web)

(2001年実績)

### 3 ネットの功罪

<学習用図書は要らない?> 電子ジャーナルも含め、資料集めにインターネットはかせない便利なツールとなっています。学生のレポートもネットから様々な資料を手に入れまとめていることもあります。書籍が図書館に少なくても、この方法だと良い資料や間違った資料など種々のものが入手でき、自分の判断力が要求され自分でまとめることになるので学習効果が大きいように思われます。大学、研究所、企業等の各研究資料がネット上でもっと充実していけば、その効果はより一層増大します。そうなると、学習用図書は必要ないとも極論できるかもしれません。

<学術雑誌は冊子体が良い> 学術雑誌については、冊子体と電子体のどちらかに選択を迫られた場合、私は前者を選択します。と言うのも、現時点では冊子体の方のメリットの方が大きい(多いのではない)からです。つまり、電子体ではパラパラめくるブラウジングに現時点では問題点があります。冊子体では簡単にパラパラめくることができ、その際全く関係のなさそうな

論文に目が留まり思わぬヒントが得られることもあります。現在の電子体では、大体において目ぼしいものとする論文にしか目を向けないのが一般的です。これですと、周りの事情・情報が入ってきません。これはまさに、隣の住人に無関心で周りとの繋がりが希薄になりがちなマンション生活と同じで、大きなデメリットです。

今や電子体の方にどんどん目が向けられています。電子体の「効率的で便利」と冊子体の「有用」とを熟慮しないと、(ちょっと言い過ぎかもしれませんが)ボタン一つの便利な生活が当たり前の若者の短絡的な気質と似たものとなることを懸念しています。

### 4 口幅ったいと思いつつ、おわりに

高級ブランドでなくても、見かけが良くなくても中味がよければ、というのは年寄臭いかもしれませんが、大学の中味を「我」を保ちつつも協力して実を挙げているかないと気がついたら失速していたということになりかねない、と思ってしまうのですがいかがでしょうか。

(わたなべ ゆたか 工学部応用化学科教授)

## シリーズ 学部資料室紹介 (5) 工学部①

今回は、工学部の機械工学科，電気電子工学科，環境建設工学科の資料の利用について紹介します。

### (1) 機械工学科

機械工学科共通となっている資料は，事務室の前の会議室に保管してあります。

こちらの資料を利用する場合は，学科事務室（本館4階404）に出向いて職員の指示に従って利用してください。

その他の資料は各教官研究室に所蔵されています。教官研究室所蔵の資料を利用する場合は，学科事務室で研究室の場所の案内を受けて，研究室へ出向き，教官に利用したい旨を申し出てください。

学科事務室の場所がわからない場合は，図書館1階の資料サービス係にお尋ねください。

機械工学科の所蔵雑誌タイトル数は約133種，図書は約4,980冊です。

### (2) 電気電子工学科

電気電子工学科共通となっている資料を利用する場合は，学科事務室（2号館5階507）に出向いて職員の指示に従って利用してください。

各教官研究室所蔵の資料を利用する場合は，図書館1階の資料サービス係または学科事務室で教官研究室の場所の案内を受けて，研究室へ出向き，教官に利用したい旨を申し出てください。

電気電子工学科の所蔵雑誌タイトル数は約229種，図書は約7,250冊です。

### (3) 環境建設工学科

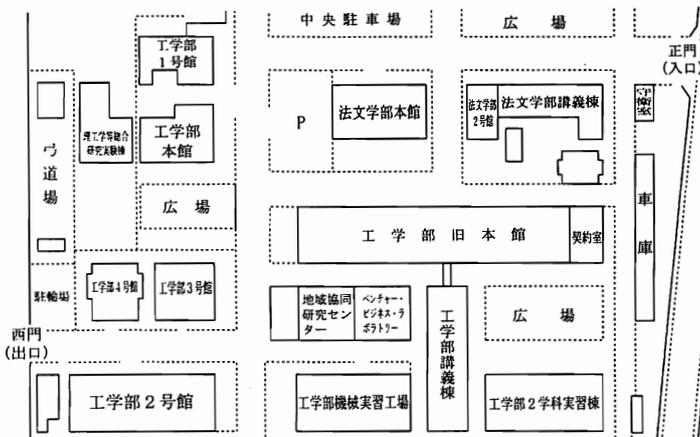
「土木学会論文集」は，環境建設工学科の図書室に所蔵されています。その他の資料は，各教官研究室に所蔵されています。

「土木学会論文集」を利用する場合は，学科事務室（旧本館3階337-2，2号館2階211）に出向いて職員の指示に従って利用してください。

教官研究室所蔵の資料を利用する場合は，図書館1階の資料サービス係または学科事務室で教官研究室の場所の案内を受けて，研究室へ出向き，教官に利用したい旨を申し出てください。

環境建設工学科の所蔵雑誌タイトル数は約190種，図書は約9,970冊です。

【工学部建物配置図】



## 「江嶋家文書」寄託資料

この度、愛媛大学附属図書館に、江戸時代初期に活躍した今治藩家老江嶋為信（1635-1695）関係文書、書簡、短冊、など164点が、ご子孫の方（西宮市在住）から寄託されました。系図、家譜、知行証（歴代当主が藩主から受け取った石高を証明した文書）などの公的文書のほか、婚礼次第、婚姻ひかえ、出品礼状、献立などの生活実務的文書、今治城図、城下屋敷図、江嶋屋敷図の図面など多種多様な資料があります。

為信は、日向国飫肥（宮崎県日南市）の出身。大田流軍学を学び兵学を講義する一方、井原西鶴とも親交があり、仮名草子「身の鏡」「理非鏡」を執筆、江戸時代を通

じて愛読され、ロングセラーとなりました。

また、俳諧でも松風軒山水の号で活躍、西山宗因とも交流し、談林派の雄として名を残しています。江戸で浪人していた1668（寛文8）年、今治藩に百石で仕官し、江戸留守居役を経て五百石の家老にまで出世しました。

附属図書館では、所蔵する貴重資料のデジタル化によるインターネットでの公開を進めており、「江嶋家文書」も、郷土史や江戸時代の家老職の実態などを探る地域資料として、地域との研究連携に取り組み、デジタル化を検討していく予定です。

## コンテンツサービスが無料で利用できます

外国雑誌のコンテンツ（目次）データベースが無料で利用できるようになりました。

このサービスは、従来受益者負担による有料サービスでしたが、本年度より無料開放（ただし学内端末からの利用に限る）しました。

サービスの概要：

### 1. コンテンツ検索

論文の目次に含まれる単語を複数指定し、該当するコンテンツの一覧を表示

### 2. SDI（最新情報提供）サービス

新たに追加されたデータを対象に、予め登録された検索式を元に自動検索しメールで結果を通知

### 3. コンテンツアラート

予め指定した雑誌のコンテンツがデータベースへ追加されると、自動的にメールで配信

### 4. 指定タイトルの巻号一覧

コンテンツ検索と同様の方法で、雑誌タイトルに含まれる単語またはSubject一覧から検索し、タイトル一覧から選んだ雑誌の特定巻号のコンテンツを表示

特徴：

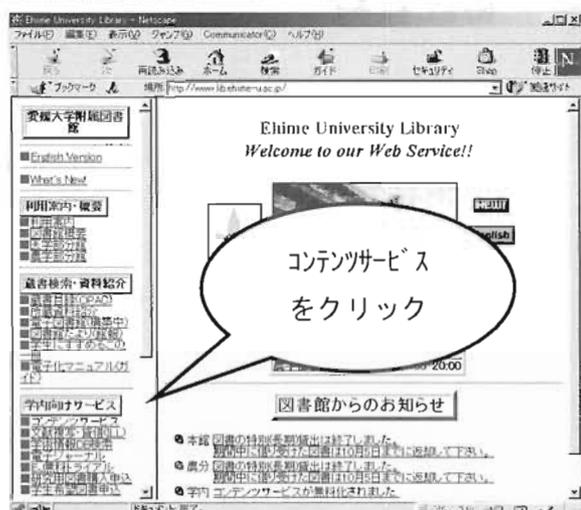
- ・学内 OPAC へのリンク
- ・NACSIS-WebCAT へのリンク
- ・電子ジャーナルへのリンク
- ・検索結果を利用した文献複写依頼

なお、文献複写依頼、コンテンツアラート及びSDIサービスを利用するには利用申請（無料）を予め行っておいてください。（検索サービスやタイトルを指定したコンテンツの表示サービスは、申請しなくても利用できます。）

詳しくは、図書館ホームページを御覧ください。

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

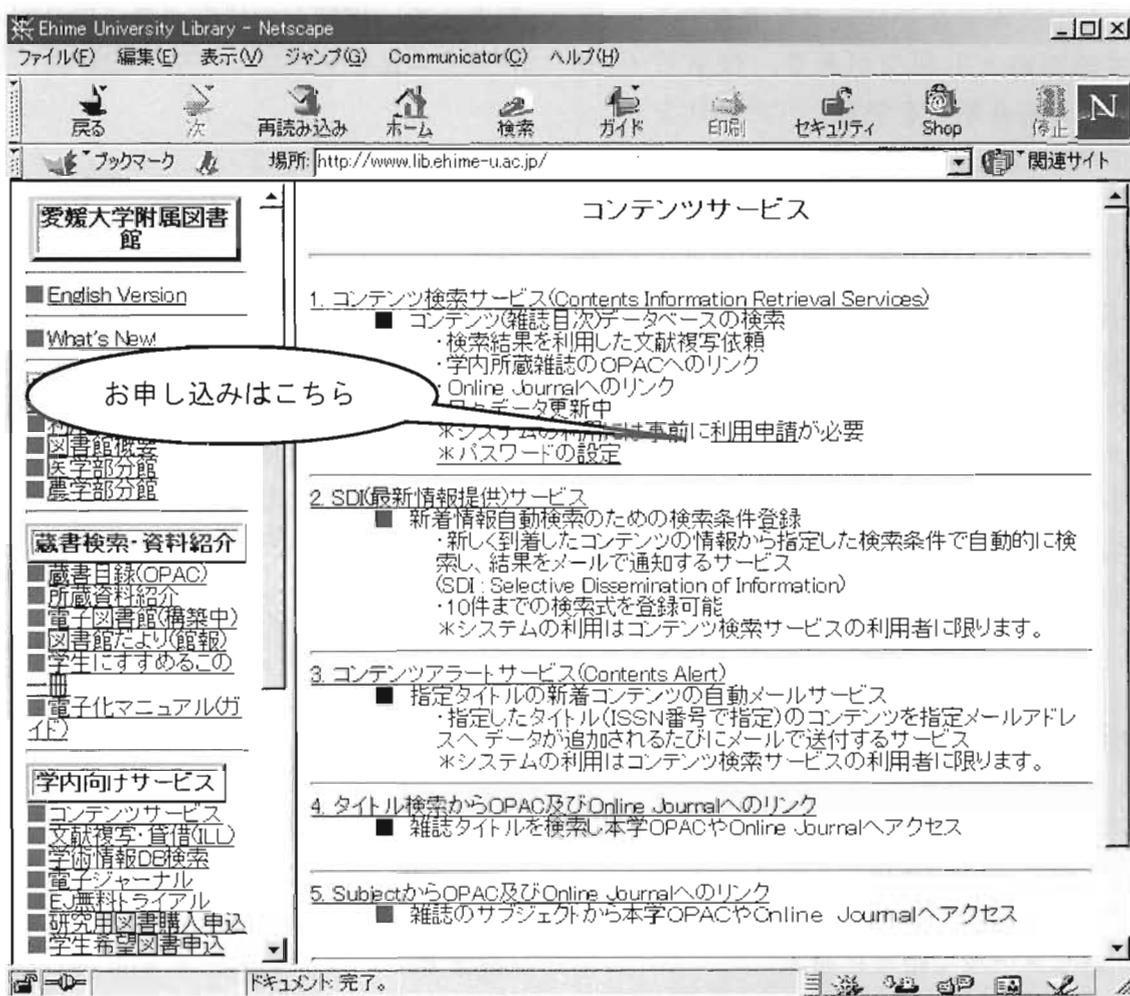
①附属図書館のホームページ



### 検索式作成方法

- 単語間をスペースで区切ると and 検索
- 検索式に ( ) を含めた and・&/or・|/not・! 検索
- 単語\*で前方一致
- 単語と記号の間はスペースで区切る(\*以外)
- 使える単語は 6 つ

②当サービスのメインメニュー



1. コンテンツ検索サービス

検索式例 (▲はスペース) :

librar の前方一致, かつ, digital または electronic でありながら, librarian の前方一致でないもの



librar\*▲&▲(▲digital▲|▲electronic▲)▲!▲librarian\*  
librar\*▲and▲(▲digital▲or▲electronic▲)▲not▲librarian\*

上下は同じ意味です。お好きなほうを入力してください。

この場合単語 4 つで&や(がスペースで区切られているので正しい検索ができます。

★特にかっこ“( )”の前後にスペースをお忘れなく

検索結果



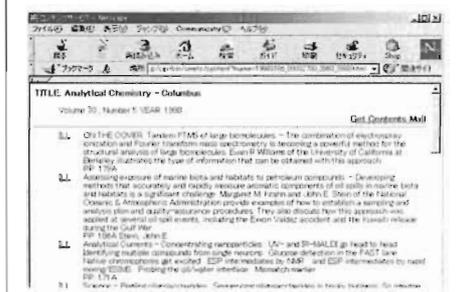
文献複写申し込み画面へ

検索式: librar\* & ( digital | electronic ) ! lib Search!  
表示件数: 20

検索式にマッチする 1165 個の書籍が見つかりました。

4. A/C WebWorks - Centigrade 232. Books have been burned for many reasons. Now, the Web is igniting its own tempest over digital libraries. Ray Dessy investigates Web sites that may represent the future for digital libraries. [OPAC] [PubLink]  
TITLE: Analytical Chemistry - Columbus  
Volume 70, Number 5 YEAR: 1998  
PP: 209A AUTH: ISSN: 0002700  
[ToC], [ISSUE List]

Vol. 70, No. 5 の目次



Analytical Chemistry - Columbus						
Title	Vol	No	Pt	Year	Table of Contents	
	[2000]		BUYER	2000	Table of Contents	
	[1999]		BUYER	1999	Table of Contents	
	[1999]		SUPPL	1999	Table of Contents	
	71	8		1999	Table of Contents	
	71	7		1999	Table of Contents	
	71	6		1999	Table of Contents	
	71	5		1999	Table of Contents	
	71	4		1999	Table of Contents	
	71	3		1999	Table of Contents	
	71	2		1999	Table of Contents	

2. SDI(最新情報提供)サービス

更新があるとメールでお知らせします。

S\_DJ 用検索式の登録

部署コード	150100
利用者名	
電子メール	phime-uac.jp
有効期限	20020331
ILL.sys	y
図書購入sys	y
目次運報sys	y
検索式<1>	
検索式<2>	
検索式<3>	
検索式<4>	
検索式<5>	
検索式<6>	
検索式<7>	
検索式<8>	
検索式<9>	
検索式<10>	

[確認](#) | [取消](#)

3. コンテンツアラートサービス

Contents Alert 登録

部署コード	150100
利用者名	
電子メール	phime-uac.jp
有効期限	20020331
ILL.sys	y
図書購入sys	y
目次運報sys	y
ISSN	

ISSNの調査  
[確認](#) | [取消](#)

4. タイトル検索から OPAC 及び Online Journal へのリンク

Title, Publisher name, Subject, ISSN からの雑誌検索

検索式:

表示件数:  要約表示:  ON

検索結果

参考ヒット数: [ library: 204 ]

検索式にマッチする 204 個の文書が見つかりました。

1. **Library Administration and Management**  
PUB: ALA American Library Association  
SUB: Management ; Library and Information Sciences  
ISSN: 06884463 FREQ: 004 CODESUB374 SUB380

[NACIS WebCAT](#)

2. **Bulletin of the Medical Library Association**

5. Subject から OPAC 及び Online Journal へのリンク

Subject Group List

あなたの端末のIP-Addressの確認はここをクリックして下さい。

General	Unknown Subject	General Interest
Women's Interests	Publishing and Book Trade	Library and Information Sciences
Abstracts and Indexing Services	Bibliographies and Encyclopedias	
philosophy	Philosophy	
Religion	Religion and Theology	
Social Sciences	Anthropology	Children and Youth
Sociology	Social Services and Welfare	Psychology
Education	Law	Public Administration
Political Sciences	Criminology and Law Enforcement	Consumer Protection and Education
Banking and Finance	Insurance	Business, Commerce and Trade
Economic Situation and Theory	Labour and Industrial Relations	Intl. Development and Assistance
Management	Statistics (Official & Vital)	Accounting and Taxation
Advertising and Marketing	Communications	Sports, Games and Recreation
Social Sciences (General)		
Language	Literature	Linguistics
Science	Mathematics	Physics
Nuclear Physics (Pure & Applied)	Chemistry	Aeronautics and Spaceflight
Astronomy	Mineralogy and Crystallography	Earth Sciences

学生にすすめるこの一冊

図書を紹介していただきましたので、本館開架室に備え付けました。ご利用ください。

石川 保志 教官 (理学部解析数理学)

ゆとりを奪った「ゆとり教育」

西村和雄編 日本経済新聞社 2001

請求記号 370.4/NI

いわゆる「ゆとり教育」がどのように学力低下に結びついているのかについて、この問題のエキスパートによって説得的に書かれている。教職員、学生ともこの問題を直視すべきである。

愛媛地区大学図書館協議会総会および協議会 Web 版の公開

平成13年7月23日、愛媛大学を幹事館として、愛媛地区大学図書館協議会総会が開催され、愛媛地区大学図書館協議会 Web 版を公開することが了承されました。

加盟館の一覧や相互協力便覧 Web 版、OPAC 横断検索などの項目があります。愛媛大学附属図書館ホームページにリンクしております。どうぞご利用ください。

URL <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/EHIME/index.html>

## 平成13年度大学図書館職員長期研修に参加して

星 川 七 海

今年の夏は記録的な酷暑ともいえるべきものでしたが、その夏の最中、7月9日～27日までの3週間、東京及び筑波地区で行われました、上記研修に参加させていただきました。

研修の目的は「情報に関する最新の知識を教授し、職員の資質と能力の向上を図ることにより大学図書館の情報提供サービス体制を充実する」こと、となっておりますが、当面の最重要課題として、「大学改革」と「電子ジャーナルの導入」という二つの問題がとりあげられました。

講義内容もそれをふまえて、

1. 大学図書館の管理・運営
2. 大学図書館の建築と設備
3. 電子図書館的機能の整備とその推進
4. 電子的資料の導入
5. 国立情報学研究所の活動
6. 多様化する情報サービス
7. 社会の変革と大学図書館

というものでした。

(詳細は<http://www.ulis.ac.jp/library/Choken/2001/>)

「大学改革」については、文部科学省のうたう「競争的環境の中で個性が輝く大学」であるために、図書館は今、何が出来るか、また図書館の存在意義は、という大きな問いかけがなされております。

それに対して、大学内での図書館の位置づけはどうなっているのでしょうか。

教官にとって図書館は本当に必要とされているのか、学生に対して充実したサービスを提供できているか、図書館が生き残る道はあるのか、そのために今何をしなければ

いけないのか。図書館に課せられた問題は山積みされており、とても講義の中だけで解決することはできませんでしたが、大学が生き残るためにはまた図書館も戦わなくてはならない、ということを考えさせられました。

電子ジャーナルについては、前号の図書館だより(第65号)で館長が説明されているとおりですが、愛媛大学にとって、電子ジャーナル導入はもはや猶予のない問題であり、早急に学内の合意が得られるよう願っております。

これから図書館はどこに向かっていくのでしょうか。

大学が地域に開放され、生涯学習の拠点として機能することを望むなら、そこには学習支援図書館が必要です。また、大学が産業界と連携し、高度な研究開発をすすめるなら、そこには研究支援図書館が必要とされるでしょう。その時、その図書館に必要とされる人材であるよう、今後ともさらに研鑽につとめたいと思います。

奇しくも21世紀最初となりました今回の研修に参加でき、北海道から鹿児島にいたる33名の人的ネットワークを得ることができました。今後の業務に大いに役立てたいと思っております。

最後になりましたが、図書館情報大学をはじめとする各大学・機関の皆様には大変お世話になりました。また快く送り出してくださいました本学の皆様にも改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(ほしかわ ななみ 図書情報係)

## 平成12年度科学研究費補助金の研究成果報告書

本学における平成12年度科学研究費補助金の成果報告書を図書館に備え付けました。

利用については資料サービス係へお申し込みください。  
( )内は課題番号

### 基盤研究 (B) (1)

下水道マンホール蓋の飛散現象とその防止対策に関するシミュレーションモデルの開発

研究代表者：渡辺政広 (11555144)

### 基盤研究 (B) (2)

農村地域における生活排水の計画的再利用システム構築に関する研究

研究代表者：治多伸介 (09460109)

マクロファージへの遺伝子導入による感染制御の基礎的研究

研究代表者：浅野喜博 (10044299)

有機金属錯体を出発原料とする新しい機能性ナノサイズセラミックスの調整と応用

研究代表者：定岡芳彦 (10045045)

放射光X線を用いたポストスピネルおよびポストメージャライト相転移境界の精密決定

研究代表者：入船徹男 (10440128)

感染により誘導されるT細胞分化誘導の第2経路の解析

研究代表者：浅野喜博 (10470086)

固定化培養細胞を用いた生理活性物質の生産に関する研究

研究代表者：橘 燦郎 (10556039)

新規プロスタグランディン I 2 誘導體クリンプロストの虚血脳保護作用

研究代表者：阪中雅広 (10557128)

環境化学物質をトレーサーとしたミンククジラの生態解明手法の開発

研究代表者：田辺信介 (10559015)

垂直磁気記録による超高密度大容量ストレージシステムの開発に関する研究

研究代表者：大沢 寿 (11450150)

宇和海の魚介類・環境中におけるマリビルナウイルスの動態

研究代表者：鈴木 聡 (11490025)

膠原病モデルマウスの疾患感受性遺伝子群の解析

研究代表者：能勢眞人 (11557019)

天然抗酸化剤：その活性と抗酸化作用のメカニズム

研究代表者：向井和男 (11694089)

本態性高血圧の分子遺伝学的研究

研究代表者：三木哲郎 (11694285)

### 基盤研究 (C) (2)

カオス力学系の位相的理論

研究代表者：平出耕一 (09640116)

超高エネルギー宇宙線のエネルギースペクトル

研究代表者：吉井 尚 (09640365)

正常血圧妊婦と妊娠中毒症妊婦におけるカルシウム代謝の解析

研究代表者：伊藤昌春 (09671698)

日本の児童生徒における他者との相違及び他者の相違の認知と受容に関する発達の検討

研究代表者：渡辺弘純 (10610122)

トウモロコシ細胞壁のグルカナーゼ活性を調節する酸性蛋白質に関する研究

研究代表者：井上雅裕 (10640635)

壁面乱流の自己再生メカニズム

研究代表者：越智順治 (10650179)

新しい多核複金属錯体を出発原料とする複合酸化物の合成と評価・応用

研究代表者：定岡芳彦 (10650811)

神経溝閉鎖不全による脊髄伝導路及びシナプス構築の変化

研究代表者：松田正司 (10670018)

HTLV-I 感染細胞から ATL 発症に至る過程で変化する細胞内因子の解析

研究代表者：長谷川均 (10670414)

三次元フラクタル解析と磁気共鳴血管撮影法を用いた脳血管の形態学的変化の定量化

研究代表者：池添潤平 (10670855)

尿路結石形成を抑制する特異的蛋白質に関する研究

研究代表者：西尾俊治 (10671481)

加齢が嚥下機能に及ぼす影響に関する研究

研究代表者：兵頭政光 (10671596)

てんかんをもった学習障害児の学校生活における支援のあり方に関する研究

研究代表者：長尾秀夫 (10680284)

微粒子プラズマの電磁場との相互作用と素過程の研究

研究代表者：横田俊昭 (10680461)

塩素化ナフタレンの環境動態

研究代表者：河野公栄 (10680504)

13-4世紀のモンゴル社会における言語接触と言語変容の研究

研究代表者：樋口康一 (11610558)

Wavelet とフラクタル位相不変量に関する研究

研究代表者：津田光一 (11640082)

低位数のウェイニング行列の構成・分類とその応用

研究代表者：大森博之 (11640125)

確率過程の最適化と消費計画への応用

研究代表者：森本宏明 (11640126)

高階微分方程式の解の振動的性質

研究代表者：内藤 学 (11640170)

ストレンジネスを持つ2体バリオン系の相互作用

研究代表者：上田 保 (11640281)

上部地殻における延性-脆性断層帯の特性と運動像

研究代表者：小松正幸 (11640455)

グラニユライト相変成岩鉱物の高温圧力下における相平衡と熱力学的性質

研究代表者：川崎智佑 (11640481)

ヒト血漿に含まれる微量タンパク質成分の高性能分離・分析法の開発に関する研究

研究代表者：真鍋 敬 (11640610)

繁殖・保護行動のエネルギー的基盤：テンジクダイ科魚類の種間比較

研究代表者：柳沢康信 (11640633)

超音波の動力作用に関する研究

研究代表者：長谷川高陽 (11650071)

電気光学効果を用いた液体誘電体中の電界ベクトル分布の瞬時測定に関する研究

研究代表者：有井清益 (11650327)

深層多重デジタル磁気記録のためのPRML方式

研究代表者：岡本好弘 (11650384)

オキシ酸吸着に伴うアロフェンの表面特性変化に関する分子軌道論的研究

研究代表者：松枝直人 (11660064)

マングローブ林根圏生態系の炭素蓄積量評価

研究代表者：二宮生夫 (11660151)

ダイオキシン分解菌及びその融合菌によるダイオキシン類のバイオレメディエーション

研究代表者：橋 燦郎 (11660166)

自己免疫性糸球体腎炎の発症・進展機構におけるオステオポンチン遺伝子多型の役割

研究代表者：宮崎龍彦 (11670217)

熱帯熱マラリア原虫メロゾイトの新たなロプトリー蛋白の遺伝子クローニング

研究代表者：坪井敬文 (11670242)

不死化T細胞クローンを用いたがんとウイルス感染症の免疫遺伝子治療

研究代表者：安川正貴 (11670449)

Daxx-ASK1-JNK/p38 を介するケラチノサイトのアポトーシス：アポトーシスと分化の新展開

研究代表者：佐山浩二 (11670834)

非放射性 xenon 吸入下 CT の基礎的検討および臨床応用

研究代表者：安原美文 (11670892)

組換えアデノウイルス系を用いたインスリン感受性 PDE キナーゼ活性化機構の解析

研究代表者：牧野英一 (11671122)

ウェルナー症候群原因遺伝子産物と相互作用をする蛋白の単離同定

研究代表者：名倉 潤 (11671123)

ホスホジエステラーゼ 3 B 遺伝子の転写活性化因子の同定と解析

研究代表者：大澤春彦 (11671124)

癌細胞増殖における新規セリン・スレオニンキナーゼ蛋白 Nori-2p の機能的検討

研究代表者：阿部康人 (11671165)

塩基性線維芽細胞成長因子の肝再生に関する基礎的および臨床的研究

研究代表者：串畑史樹 (11671245)

神経細胞の二次変性を防御する因子の開発

研究代表者：出崎順三 (11671370)

関節軟骨細胞に対するアデノシンの効果—変形性関節症の病態進行に関連して—

研究代表者：川谷義行 (11671440)

脊髄グリア細胞に対するニコチンレセプターアゴニストの効果

研究代表者：松田芳郎 (11671441)

虚血性脳疾患に対する無麻酔下軽微脳低温・薬物補充療法導入のための基盤確立

研究代表者：八杉 巧 (11671504)

CA125 遺伝子プロモーターの同定と卵巣癌特異的遺伝子治療の試みに関する研究

研究代表者：濱田雄行 (11671624)

内耳障害におけるグルタミン酸の役割とその神経毒性防御に関する研究

研究代表者：暁 清文 (11671684)

眼表面における Stem cell factor の役割

研究代表者：大橋裕一 (11671742)

QOL と自己効力感との関連性からみた家族サポートモデルの構築

研究代表者：河野保子 (11672334)

チームアプローチによる小児慢性疾患患者の患者教育の方法論に関する研究

研究代表者：中村慶子 (11672378)

中・高齢者の QOL の改善と転倒防止に対する体力トレーニングの有効性について

研究代表者：浅井英典 (11680035)

知的機能の脳内リアルダイナミクス

研究代表者：小森憲治郎 (11680391)

確率的低気圧モデルに基づく波高の極値推算システムに関する研究

研究代表者：畑田佳男 (11680471)

リパーゼの新たな生理機能の探索—アシルトランスフェラーゼとしてのリパーゼ—

研究代表者：辻田隆広 (11680638)

観葉植物、花、香りが存在する空間における感性の評価

研究代表者：仁科弘重 (11832017)

血小板由来成長因子β-受容体遺伝子の血管平滑筋特異的発現調節

研究代表者：北見 裕 (11838012)

## 附属図書館委員会

### 平成13年度第2回附属図書館委員会

日時 平成13年7月17日(火) 11:00～

場所 附属図書館視聴覚室

議事

[報告事項]

1. 平成13年度共通経費要求事項について
2. 将来計画委員会報告
3. 第49回中国四国地区大学図書館協議会総会及び第28回国立大学図書館協議会中国四国地区協議会について
4. 平成13年度国立大学附属図書館事務部課長会議について
5. 第48回(平成13年度)国立大学図書館協議会総会について
6. 平成13年度大型コレクションの選定について
7. 分館近況報告
8. その他

[協議事項]

1. 二次情報サービスの充実について
2. 電子ジャーナルの対応について
3. 教育環境改善に係る整備計画
4. その他

## お知らせ

図書の特別(長期)貸出しの  
返却期限を守ってください

返却期限：10月5日(金)

本館および農学部分館では、夏季休業にと  
もない特別(長期)貸出しをしております。

期限までに返却しなかった場合は、延滞日  
数分貸出しが出来なくなりますので注意して  
ください。

## 附属図書館委員会委員交替

附属図書館委員会委員の農学部の委員  
が交替しました。

旧委員 日鷹一雅教官

新委員 正田慶夫教官

(任期：2001. 5. 1～2002. 3. 31)

## 図書館日誌(会議, 研修)

- 7月2日 平成13年度第2回医学部図書・情報  
委員会
- 7月9日 平成13年度大学図書館職員長期研  
修(東京・つくば) ～27日
- 7月10日 愛媛県高等学校教育研究会図書部  
会中予支部研修会研修者来館
- 7月19日 平成13年度第1回農学部分館運営委  
員会
- 7月23日 平成13年度愛媛地区大学図書館協  
議会総会(愛媛大学)
- 7月23日 第27回四国地区係長研修(高松)  
～27日 学術情報係長出席
- 7月25日 マレーシア青年団来館
- 7月30日 平成13年度第3回医学部図書・情報  
委員会
- 8月7日 平成13年度愛媛大学体験入学  
～8日
- 8月22日 第38回愛媛県図書館講習会(ひめ  
ぎんホール)
- 8月29日 平成13年度目録システム地域講習  
～31日 会講師派遣(岡山大学)